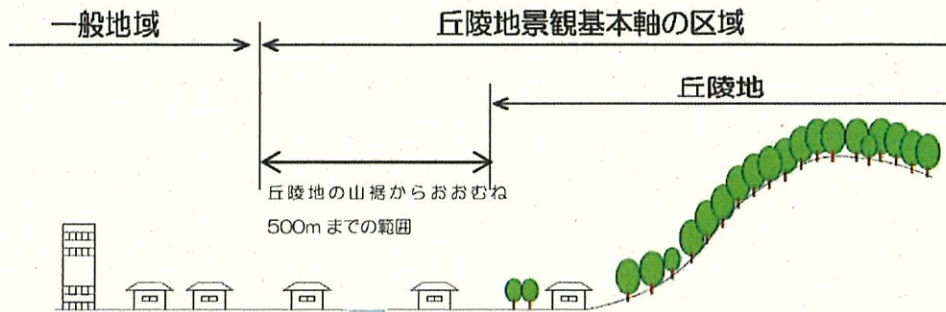


8.2.13 景観

(1) 東京都の景観計画

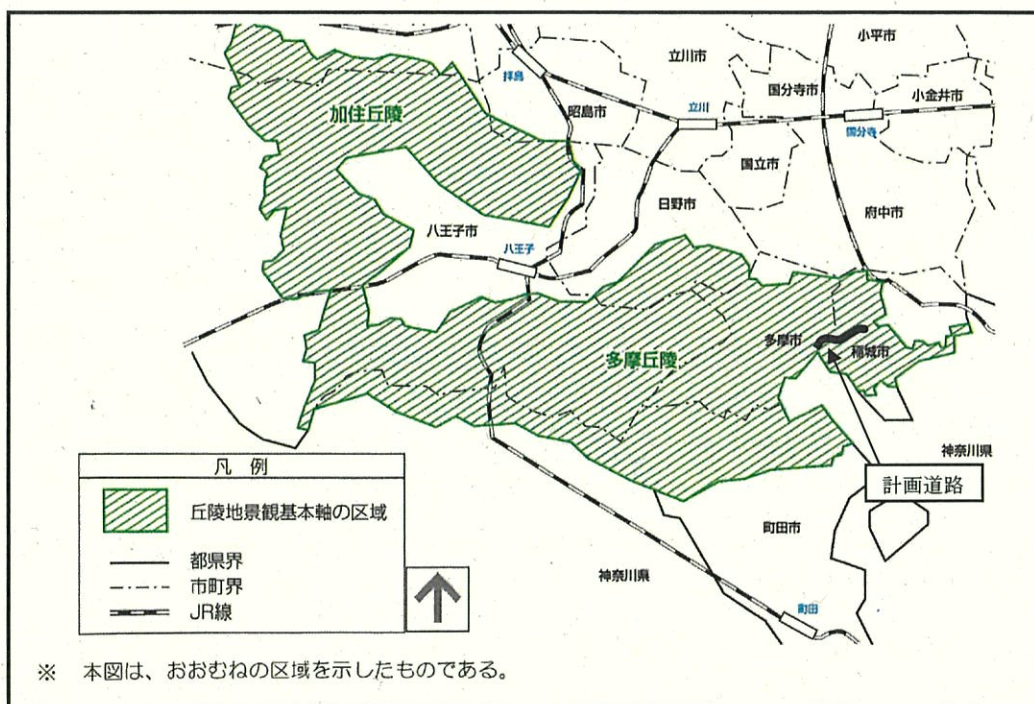
東京都の景観計画の考え方は、図 8.2-22 及び図 8.2-23 に示すとおりです。

東京都では、「東京都景観計画」(平成 30 年 8 月改訂 東京都)において、丘陵地の山裾からおおむね 500m までの範囲を「丘陵地景観基本軸」として設定し、「丘陵地の特性である尾根筋の緑や里山景観を保全しながら、都市開発によりつくられていく新しい景観を、豊かな自然を有する丘陵地の景観特性に調和したものとなるよう形成を図る」としています。計画道路及びその周辺は、「丘陵地景観基本軸」の区域に該当します。



資料：「東京都景観計画」(平成 30 年 8 月改訂 東京都)

図 8.2-22 丘陵地景観基本軸と一般地域との関係



資料：「東京都景観計画」(平成 30 年 8 月改訂 東京都) に計画道路を加筆

図 8.2-23 丘陵地景観基本軸の位置

(2) 多摩市及び稲城市の景観計画

ア 多摩市

多摩市の景観計画としては、「多摩市都市計画マスタープラン 平成 25 年改定」(平成 25 年 6 月 多摩市)において「まちづくりの方針」の中で「景観づくりの方針」が掲げられており、次に示す基本的な考え方と、四つの形成方針が示されています。

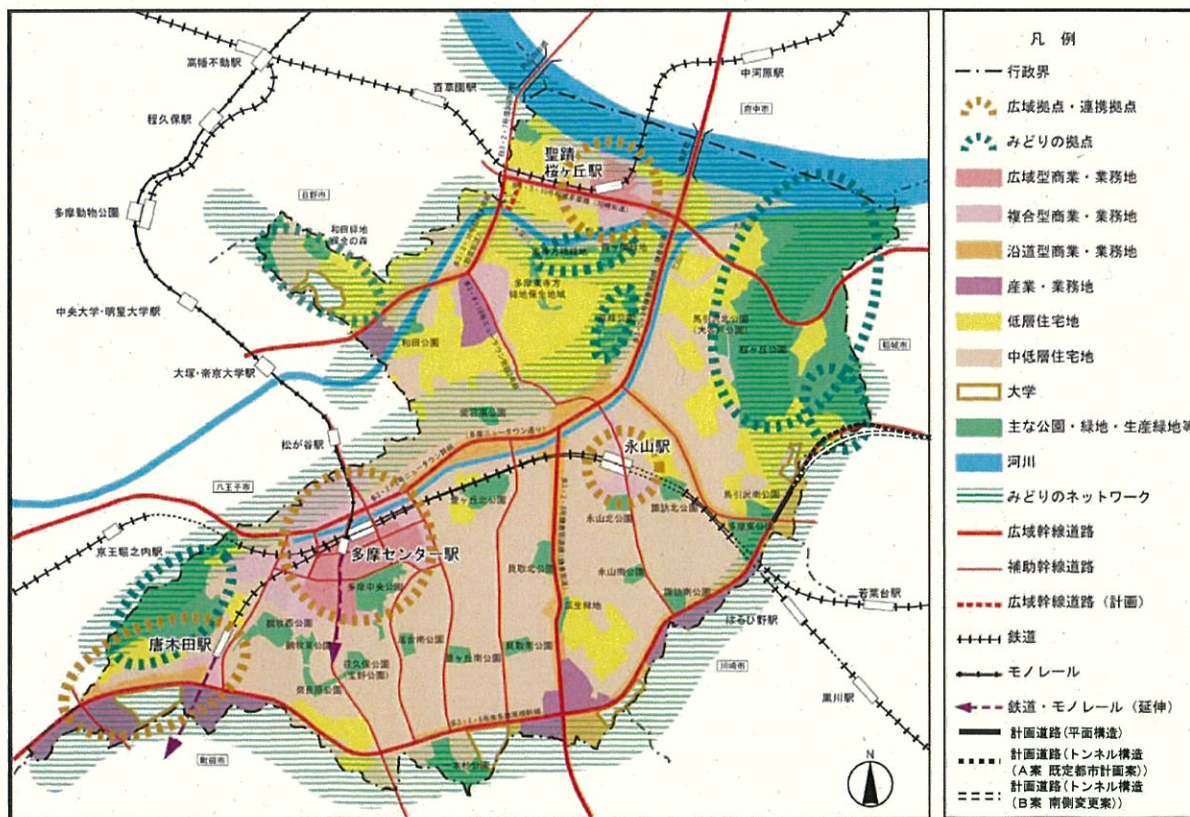
【基本的な考え方】

- ・土地利用施策などとの連携により、特に駅周辺の拠点地区や主要な幹線道路沿道、更新が進む住宅地において、本市を特徴づける魅力的な都市景観の形成を図ります。
- ・道路、公園などの公共施設は、まちの景観を構成する要素として先導的な役割を果たしていることから、より良い景観の維持・形成を図ります。
- ・多摩川や多摩丘陵に残された樹林地や原風景など、恵まれた自然的環境による水とみどりの空間を守り育てることで、自然的空間と都市空間が調和した快適で魅力ある都市景観の創出に努めます。

【形成方針】

- (1) 拠点地区の景観形成
- (2) 幹線道路沿道の景観形成
- (3) 特色ある地域景観の形成
- (4) 水とみどりの景観形成

形成方針のうち道路に関するものとしては、「幹線道路沿道の景観形成」があり、その中で「主要な幹線道路(南多摩尾根幹線道路、鎌倉街道など)沿道については、「多摩市の都市軸」として位置づけ、連続した豊かなみどりの形成や周辺と調和した街並みの形成を促進するなど、都市軸としての景観形成に努めます。」としています。



資料：「多摩市都市計画マスタープラン平成 25 年改定」(平成 25 年 6 月 多摩市)に計画道路を加筆

図 8.2-24 多摩市におけるまちづくりの将来構想

イ 稲城市

稲城市の景観計画では、「第二次稲城市環境基本計画」（平成 25 年 3 月 稲城市）の中で「稲城市のすぐれた景観」として、向陽台地区の建物・まちなみ、稲城中央公園、三沢川の桜並木等を選定しています。

さらに、「第 3 回自然環境保全基礎調査 東京都自然環境情報図」（平成元年 環境庁）において、郷土景観を代表するとして選定された特定植物群落（「多摩弾薬庫跡の樹林」）も分布しています。

「稲城市都市計画マスタープラン」（平成 25 年 3 月 稲城市）では、図 8.2-25 に示すように、都市景観の形成方針として、計画道路及びその周辺は「幹線道路等での魅力的な沿道景観の創出」とされています。



資料：「稲城市都市計画マスタープラン」（平成 25 年 3 月 稲城市）に計画道路を加筆

図 8.2-25 稲城市における地域区分図

(3) 計画道路及びその周辺の景観特性

計画道路及びその周辺における景観資源の状況として、主な景観資源は表 8.2-22、景観資源位置は図 8.2-26 に示すとおりです。

計画道路及びその周辺の丘陵地では、昭和 40 年代以降、大規模なニュータウン開発が各所で進み、起伏のある地形に沿って計画的に形成された都市が広がるとともに、緑の保全、再生や創出も計画的に進められました。規模の大きい公園も比較的多く整備されるなど、全体として自然の豊かさが感じられる景観となっています。

計画道路及びその周辺では、多摩弾薬庫跡の樹林の豊富な緑、開放感のある街路、屋根や壁に同系色を用いた統一感のある落ち着いた美しいまちなみ、三沢川沿いの桜並木が、景観要素としてあげられます。また、よこやまの道は「多摩の自然と触れ合う道」として整備されています。多摩弾薬庫跡の樹林は、「第 3 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（昭和 63 年 環境庁）により特定植物群落とされています。

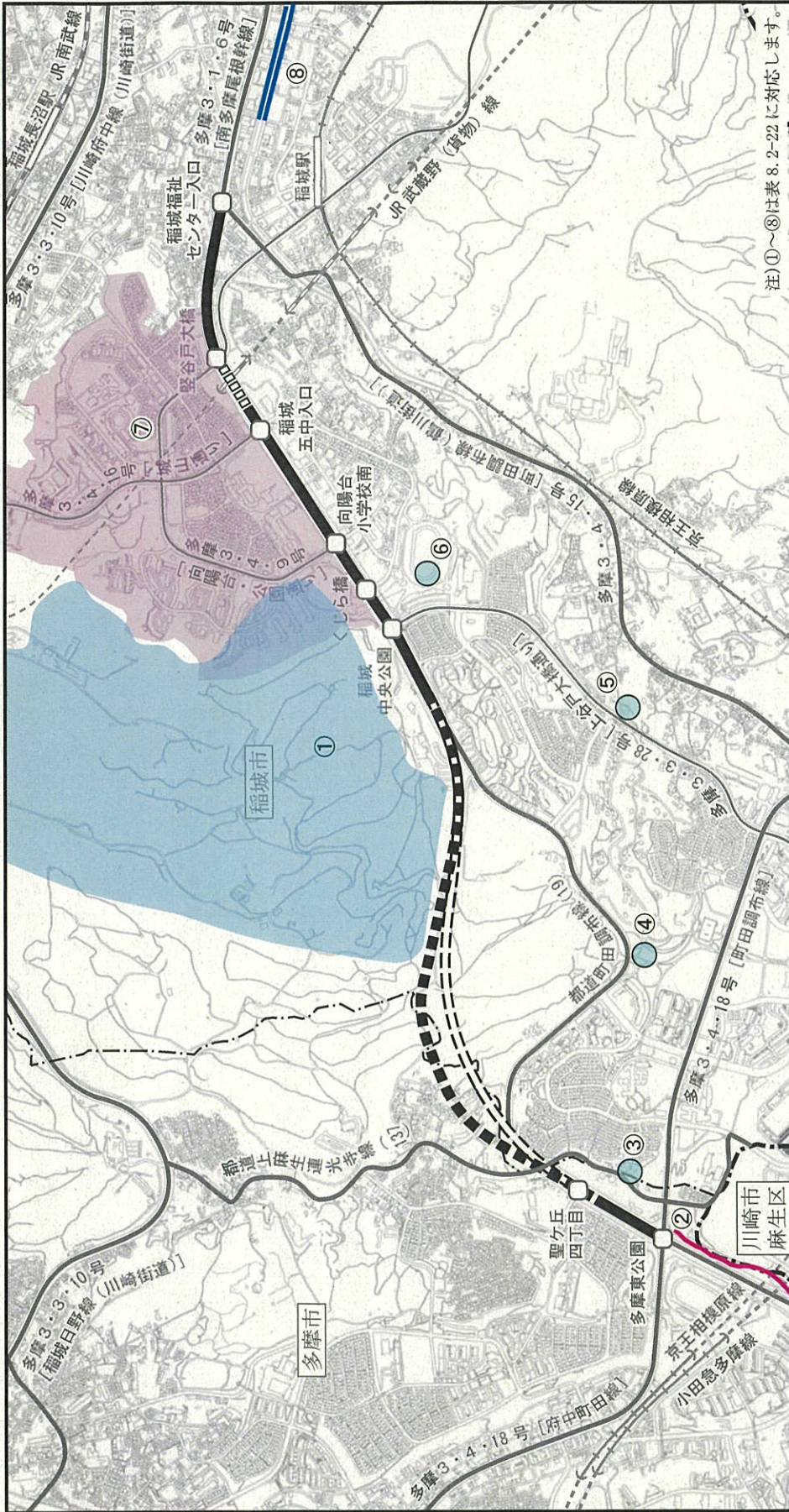
表 8.2-22 主な景観資源

名称	No	指定区分	内容	選定理由	出典
多摩弾薬庫跡の樹林	①	環境庁	「郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの」及び「過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの」として、「第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」で特定植物群落として選定されています。	「郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの」として特定植物群落に指定されているため選定しました。	A
よこやまの道	②	多摩市	多摩市と、町田市及び川崎市との市境となっている尾根沿いの緑地は、よこやまの道として、市民が多摩の旧来の自然環境や歴史に触れる場として整備していくとしています。これらの整備に当たっては、必要な修景を行って自然緑道として整備するとともに、周辺の緑地を活用するなどして、樹林としての広がりを持たせていくとしています。	良好な自然環境を形成しているため選定しました。	B
みはらし緑地	③	稲城市	みはらし緑地の眼下には若葉台地区のまちなみが広がり、晴れた条件の良い日には、横浜方面の建物を望むことができます。	第二次稲城市環境基本計画で「本市の優れた景観」として記載されているため選定しました。	C
若葉台公園	④	稲城市	野球やサッカーができる多目的広場や、防災機能を備えた公園として整備しています。		
上谷戸親水公園(水車・ホテル)	⑤	稲城市	動植物の生息区間に配慮した自然形態を残した流路や護岸は自然石を利用した空積みで整備されるとともに、竹林に囲まれるように水車小屋が建っています。6月にはホテルが乱舞し、市民が自然に触れ合う機会を作っています。		
稲城中央公園	⑥	稲城市	総合グラウンドや野球場、総合体育館等の運動施設やユニークな曲線のくじら橋があります。		
向陽台地区の建物・まちなみ	⑦	稲城市	南斜面の地形を活かし、丘陵に向かって手前から順に公共施設、低層戸建て住宅、中層集合住宅、高層集合住宅を配置し、弓なりのスカイラインが特徴的です。また、高層集合住宅の背後から、多摩丘陵の尾根筋が見え、地区内の公園・緑地とあいまって緑あふれるまちなみとなっています。		
三沢川の並木道	⑧	稲城市	稲城駅から京王よみうりランド駅までの川沿いに、約320本の桜がさきほこります。川沿いには、遊歩道が整備され、川の流れを眺めながらのんびりと散策を楽しめます。		

資料：A「第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（昭和63年 環境庁）

B「多摩よこやまの道パンフレット」（平成27年3月 多摩市）

C「第二次稲城市環境基本計画」（平成25年3月 稲城市）



注)①～⑧は表8.2-22に対応します。

凡例

- 計画道路 (平面構造)
- 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- 計画道路 (橋梁構造)
- 都県界
- 市界
- 道路 (主要地方道・一般都道)
- 道路 (計画道路と交差する主な市道)

- 交差点
- 鉄道

- 特定植物群落 (多摩弾薬庫跡の樹林)
- よこやまの道
- 公園・緑地
- 向陽台地区の建物・まちなみ
- 三沢川の桜並木

資料：「多摩よこやまの道パンフレット」(平成27年3月 多摩市)
「第二次稲城市環境基本計画」(平成25年3月 稲城市)
「自然環境調査Web-GIS」(平成30年12月閲覧 環境省生物多様性センターホームページ)



図8.2-26 景観資源位置図